



2018年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2017年12月25日

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2017年12月26日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 土岐 勝司
 (氏名) 倉田 秀一郎
 TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

1. 2018年8月期第1四半期の連結業績(2017年8月21日～2017年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年8月期第1四半期	3,998	2.1	79	70.6	94	48.7	68	37.2
2017年8月期第1四半期	3,915	5.1	46	47.4	63	47.7	49	58.7

(注) 包括利益 2018年8月期第1四半期 77百万円 (85.1%) 2017年8月期第1四半期 41百万円 (89.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年8月期第1四半期	11.89	
2017年8月期第1四半期	8.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年8月期第1四半期	8,163	2,843	34.8
2017年8月期	8,274	2,834	34.3

(参考) 自己資本 2018年8月期第1四半期 2,843百万円 2017年8月期 2,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年8月期		0.00		12.00	12.00
2018年8月期					
2018年8月期(予想)		0.00		7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年8月期の連結業績予想(2017年8月21日～2018年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,017	2.4	65	47.8	87	43.4	43	63.0	7.68
通期	16,552	1.8	211	0.0	243	3.4	136	37.9	23.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年8月期1Q	5,725,000 株	2017年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	2018年8月期1Q	2,861 株	2017年8月期	2,861 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年8月期1Q	5,722,139 株	2017年8月期1Q	5,722,139 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2017年8月21日～2017年11月20日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いている一方で、人材不足の深刻化や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きについては不透明な状況で推移をしております。

このような環境の中、前期事業計画を更に高度なものへと進化させた当期事業計画「ktkアドバンスドプランVer.2」を策定し、営業、生産、管理・経営、調達・物流の各部門に「営業量の拡大、選択と集中」「原価低減、ラインナップ拡充、品質改善、生産管理の見える化と次世代モノづくりの検討」「原価削減と現場強化、春日井工場商材の拡販サポート」「企業価値、業務効率の向上と教育制度の充実による社員のレベルアップ」「更なるコストダウンとサービスレベル&効率のアップ」を戦略に掲げ、全社が一丸となって邁進しております。

また、当第1四半期連結累計期間におきましては、連結子会社の株式会社青雲クラウンにおいて、前連結会計年度に契約の予期せぬ終了があり、厳しい状況が続いておりますが、当社グループの営業社員に貸与したタブレット型PCによる「モバイルワーク制度」を活用したことにより、営業効率のアップと営業時間の拡大が図られ、売上は増加いたしました。

利益面におきましては、売上が増加したことに加え、前連結会計年度の「ktkアドバンスドプラン」の効果と当期事業計画「ktkアドバンスドプランVer.2」の最速実行により、原材料費の低減を中心とした製造コストと調達コスト、並びに経費の更なる削減により拡大いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,998,513千円(前年同四半期比2.1%増)、営業利益は79,284千円(前年同四半期比70.6%増)、経常利益は94,496千円(前年同四半期比48.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,063千円(前年同四半期比37.2%増)となりました。

なお、連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

また、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ111,624千円減少し、8,163,135千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ156,415千円減少し、5,283,860千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が232,872千円増加し、現金及び預金が420,636千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ44,791千円増加し、2,879,274千円となりました。これは、有形固定資産が44,388千円、投資その他の資産が13,729千円増加し、無形固定資産が13,325千円減少したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ273,507千円減少し、4,500,958千円となりました。これは、主に短期借入金が121,970千円増加し、支払手形及び買掛金が344,708千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ153,190千円増加し、818,595千円となりました。これは、主に長期借入金が157,560千円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8,692千円増加し、2,843,581千円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が9,295千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月期の業績予想につきましては、2017年10月3日に発表いたしました連結業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,400,751	1,980,114
受取手形及び売掛金	2,430,617	2,663,490
商品及び製品	430,347	443,684
仕掛品	541	463
原材料及び貯蔵品	48,848	52,500
その他	130,205	144,527
貸倒引当金	△1,036	△920
流動資産合計	5,440,276	5,283,860
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,116,221	1,116,221
その他(純額)	460,922	505,310
有形固定資産合計	1,577,143	1,621,532
無形固定資産		
のれん	85,444	84,020
その他	54,201	42,299
無形固定資産合計	139,645	126,319
投資その他の資産		
その他	1,133,986	1,147,642
貸倒引当金	△16,293	△16,220
投資その他の資産合計	1,117,693	1,131,422
固定資産合計	2,834,483	2,879,274
資産合計	8,274,759	8,163,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,009,031	2,664,323
短期借入金	1,233,268	1,355,238
未払法人税等	43,329	30,834
賞与引当金	85,613	64,076
役員賞与引当金	17,424	-
その他	385,799	386,486
流動負債合計	4,774,465	4,500,958
固定負債		
長期借入金	223,805	381,365
役員退職慰労引当金	97,048	84,481
退職給付に係る負債	116,168	119,144
その他	228,383	233,603
固定負債合計	665,405	818,595
負債合計	5,439,870	5,319,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	663,325	663,325
利益剰余金	1,742,473	1,741,871
自己株式	△1,281	△1,281
株主資本合計	2,699,192	2,698,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,696	144,992
その他の包括利益累計額合計	135,696	144,992
純資産合計	2,834,888	2,843,581
負債純資産合計	8,274,759	8,163,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2016年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2017年11月20日)
売上高	3,915,450	3,998,513
売上原価	3,097,895	3,171,562
売上総利益	817,554	826,951
販売費及び一般管理費	771,093	747,666
営業利益	46,461	79,284
営業外収益		
受取利息	21	13
受取配当金	5,247	5,569
仕入割引	9,598	9,519
受取家賃	15,217	13,945
その他	3,392	3,014
営業外収益合計	33,477	32,062
営業外費用		
支払利息	3,181	2,474
売上割引	10,295	12,210
その他	2,902	2,164
営業外費用合計	16,378	16,849
経常利益	63,559	94,496
特別利益		
保険解約益	3,397	-
特別利益合計	3,397	-
税金等調整前四半期純利益	66,956	94,496
法人税、住民税及び事業税	20,413	27,535
法人税等調整額	△3,072	△1,102
法人税等合計	17,340	26,433
四半期純利益	49,616	68,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	49,616	68,063

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2016年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2017年11月20日)
四半期純利益	49,616	68,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,819	9,295
その他の包括利益合計	△7,819	9,295
四半期包括利益	41,796	77,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,796	77,358
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

《簡便的な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。